

きび美ミュージアム開館記念展 I  
— 2021年4月29日(木祝) ~ 6月27日(日)

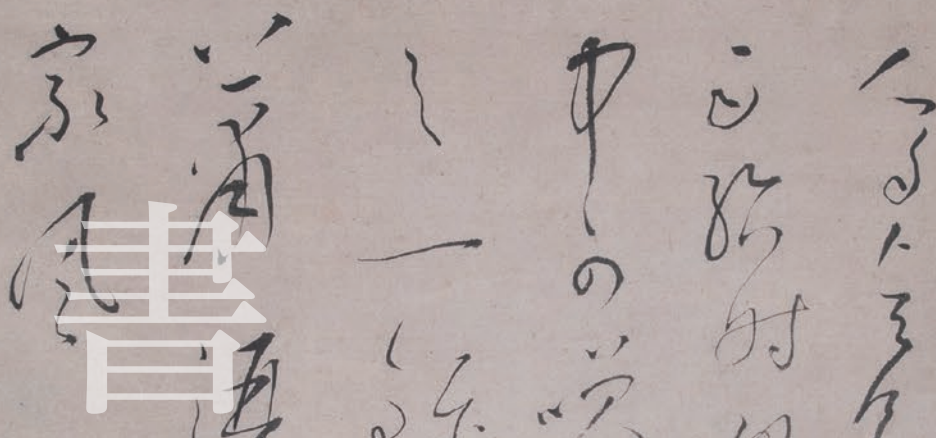
倉敷美観地区に  
4月29日(木・祝)  
開館

# 古備と出会おう

# 刀



# 陶



# 画



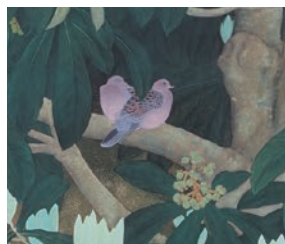
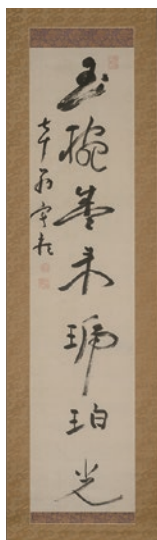
kibibi  
museum



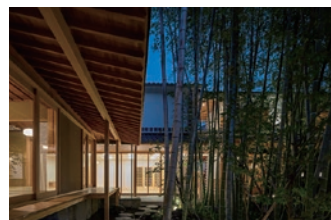
# きび美ミュージアム開館記念展 I 吉備と出会う

期間 2021年4月29日(木・祝)～6月27日(日)

開館を記念し、「吉備と出会う」をテーマに全館を会場として展示を行います。「吉備国」ゆかりの幅広いジャンルの文化財を通して、その優れた技や知恵、また美意識や世界観を感じてください。竹林庭園を抱く静かな空間で、吉備の歴史と文化に出会う開館記念展です。



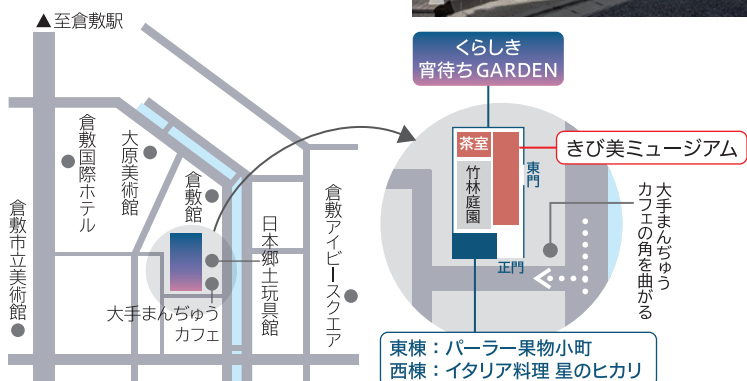
上段 左：《備前 火燗鶴首徳利》 中央：河原修平《辻の夜》  
右：寂庵《玉椀盛来琥珀光》  
下段 左：《備前 雉香炉》 右：木村丈夫《永日午後》(部分)



表面上から 《太刀 銘「宗貞」》(県指定重要文化財)、《備前 玉垂れ大壺》、良寛(自詠「乞食」二首、其一)、寺松国太郎《乙女散華之図》

倉敷美観地区へのアクセス

- 倉敷ICから車で約15分
- 早島ICから車で約15分
- JR倉敷駅から徒歩約15分



## 1階 とうとう 刀陶の間



「吉備の真髓と出会う」をテーマに考古遺物、備前焼、刀剣を展示します。考古遺物は倉敷市酒津出土の弥生土器や古代吉備の謎に一石を投じる円筒埴輪、備前焼は須恵器から近代細工物まで、その歴史を厳選した作品をご紹介します。刀剣は希少な上古刀や古青江の妹尾鍛冶《太刀 銘 宗貞(むねさだ)》(岡山県指定重要文化財)をご覧ください。

## 1階 きび美ホール



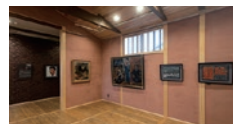
「きび美ホール」では、関西油彩画壇を牽引した寺松国太郎(てらまつくにたろう)と、独自の画境を追求し鬼才と呼ばれた河原修平(かわはらしゅうへい)の代表作の特別展示を行います。当館が作品と資料の大部分を所蔵する倉敷市出身の2人の画家の作品を、竹林を間近にした会場でご鑑賞ください。

## 2階 かんぼく 翰墨の間



「詩思筆才」をテーマに、吉備ゆかりの書跡を紹介していきます。今回は近世の四大書僧のうちの2人、倉敷市連島を拠点とした寂庵(じゃくごん)と、玉島円通寺で修業した良寛(りょうかん)の佳品に加え、幕末の備前松山藩に仕えた山田方谷(やまだほうこく)の六曲屏風を展示します。書の魅力をご堪能ください。

## 2階 ゆうさい 有彩の間



「百花生ず 吉備彩描」をテーマに、地元作家の油彩画を紹介していきます。開館記念展では戦前戦後を通じて昭和期に異彩を放ち続けた倉敷市本町生まれの画家・河原修平の名品を展覧します。

## 茶室 ちょうちく 聴竹亭



竹林庭園に臨む茶室「聴竹亭」では、早島町出身の日本画家・木村丈夫(きむらじょうふ)の屏風作品を2週間のみ公開。花鳥風月の名手として京都で活躍した木村の、堅実な技量とモダンな感性の窺える大作をご覧ください。

■ 展示予定(木村丈夫/屏風作品) 4月29日(木・祝)～5月13日(木)  
※天候により公開を控えることもあります。

開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休館日	月、火曜日(祝日の場合は振替) ※年末年始、展示替などの臨時休館日についてはその都度Webサイトでお知らせします。
入館料	一般 700円 中高生 500円 小学生 300円 ※10名以上の団体は2割引 ※車椅子の方が入館される際の介助者は無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内滞在人数を30名程度に制限させていただきます。ご協力をお願い申し上げます。

吉備と出会う 吉備に恋する



一般財団法人 倉敷山田コレクション きび美ミュージアム  
〒710-0046 岡山県倉敷市中央1丁目4-22 「くらしき宵待ちGARDEN」内  
TEL: 086-425-8080 FAX: 086-425-8181 ✉ info@kibibi.or.jp  
https://kibibi.or.jp

